

令和5年度 県立学校コミュニティ・スクール推進事業研修会 開催報告

- 1 趣旨 学校と地域が一体となって子どもを育む「地域とともにある学校づくり」の充実方策について、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の有効的な取組に係る講演やトークセッションを通して、県立学校における円滑かつ効果的な導入や取組の充実に資することを目的とする。
- 2 主催 滋賀県教育委員会
- 3 対象（主に県立特別支援学校関係者を対象とする） 参加者 39 名
 - (1) 県立特別支援学校教職員、県立高等学校教職員
 - (2) 県立学校運営協議会（コミュニティ・スクール）関係者、学校評議員
 - (3) 各市町担当者、県・市町社会教育委員
 - (4) 「地域連携担当者」等新任研修受講者（選択研修）
- 4 日時 令和5年7月4日（火）13:30～16:30
- 5 会場 滋賀県庁 東館7階 大会議室
- 6 内容
 - (1) 事例紹介
テーマ：「草津養護学校におけるコミュニティ・スクール導入から現在まで」
事例紹介者：草津養護学校 学校運営協議会 元会長 武居 誠 氏
草津養護学校 副校長 中塚 薫 氏
 - (2) 講演
演題：「京都市立東総合支援学校のコミュニティ・スクールの取組」
講師：京都市立東総合支援学校 教頭 鎌田 由佳理 氏
 - (3) グループ別情報交換

7 事例紹介・講演・グループ別情報交換について

事例紹介では、県内の県立特別支援学校で初めてコミュニティ・スクールを導入された草津養護学校の準備期間から現在までの取組について、武居元会長と中塚副校長に御紹介いただきました。学校運営協議会設置によるビジョンの明確化、委員の選定、会長の思いに沿った運営方法について詳しく教えていただきました。子どもたちや学校の安心・安全を守るためのコミュニティ・スクールを毎年少しずつ深めていく様子は参加者にとって多くの学びとなりました。

講演では、全国的にも早期に導入された「京都方式」のコミュニティ・スクールの仕組みや、学校の特色を十分に生かした取組について京都市立東総合支援学校の鎌田教頭より御講演いただきました。「主体的に活動する子ども」、「人とのを大切にする子ども」を育むための様々な活動を御教示いただき、滋賀県内の今後のコミュニティ・スクールの取組に多くのヒントをいただきました。

グループ別情報交換では、会場・オンラインともに4、5人のグループに分かれ、事例紹介・講演の感想や自身（学校・学年・地域）の取組等をお話いただきました。これからCSを導入する学校と既に導入している学校の交流や、異校種の交流により広い視野でCSについて考えていただく機会となりました。



8 参加者のアンケートより

【事例紹介について】

- ・具体的に立ち上げの様子や御苦勞、年々重なる組織拡大や取組が大変わかりやすく、参考になりました。自校で立ち上げるとしたら、そのメンバーやテーマ設定、どのように周囲を巻き込んでいくか、など考えることも多かったです。元会長の武居様のお話も大変印象的で、進行する上での心構えや取組のヒントが盛りだくさんで大変勉強になりました。
- ・子どもたちへのあたたかい気持ちを知ることができ、大変良かったです。
- ・「地元・地域の方に守られる安心をめざして」という思いがよく伝わってきました。
- ・地域との協力体制が大切であると改めて感じました。もっと委員の方を通して有機的なつながりを構築したいと思います。

【講演について】

- ・学校運営協議会の組織体制や具体的な取組と成果を聞くことができ大変参考になりました。自校の活動に生かせる内容が多くありました。
- ・写真や動画などの紹介が多く、学校の様子がよくわかりました。京都の支援学校の仕組みやコミュニティ・スクール京都方式、各学校の活動を知り、参考となる取組がありました。「発信する」「理解していただく」大切さを感じました。
- ・「地域の子は地域で育てる」という考え方が印象的でした。学校種や地域の差によってこれほどアプローチが異なるものかと感じました。参考にしたいです。

【グループ別情報交換について】

- ・CSのメリットや課題、進めるにあたってのヒントをたくさんいただきました。本校でも参考になることばかりで、本日参加して良かったと感じました。
- ・小学校や中学校は地域と子どもたちの関係作りが進んでいるのに、高校になるとその時間が極端に少なくなっていることに気づかされました。
- ・他校の実践を知る機会があり大変参考になりました。特に、学校全体の教職員や保護者への周知については、学校運営協議会通信の発行を検討されている例もあり参考になりました。
- ・県立学校でのCSの難しさと可能性について考えさせられました。

